日本生命保険相互会社

https://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/kankyo/

《将来に向けた取組方針》

当社は、サステナビリティ経営を事業運営の根幹と位置付け、「人」・「地域社会」・「地球環境」の３つの領域に重点を置き、それぞれのサステナビリティを実現することを目指しています。「地球環境」に関しては、（1）気候変動問題、（2）生物多様性、（3）プラスチック問題（サーキュラーエコノミー）を３つの柱として当社グループ全体で取組んでいます。「生物多様性への対応」については、ネイチャーポジティブな社会を目指し、資産運用・事業活動の両面で、各種の取り組みを行って参ります。

〈日本生命の環境取組み〉

○生物多様性への取組み

① 全国の当社職員によるボランティア活動による地域の生物多様性の保全活動への参加

全国の支社で毎年、定例的にボランティア活動を行っており、その中で、生物多様性の保全に繋がる活動も実施している。

②「ニッセイの森」の整備を通じたCO_2吸収、自然環境学習等による生物多様性の保全への貢献

日本生命職員による任意団体である“ニッセイの森”友の会は（公財）ニッセイ緑の財団とともに1992年から森づくりに取り組み、自然環境学習の場として生物多様性保全に貢献している。（全国207カ所、138万本を植樹）

③ 日本生命財団による環境問題研究助成の実施

1979年に当社が設立した日本生命財団で、環境問題研究助成を継続、うち生物多様性に関する研究助成は2016年以降、86件1億2,560万円となっている（2023年3月末時点）。

④ESGテーマ投融資を通じた自然資本や生物多様性における課題解決

環境持続型の漁業・養殖事業を資金使途とするブルーボンドをはじめ、森林整備や絶滅危惧種の生息域調査等を資金使途とするグリーンボンドへの投融資を実施。

沖縄での海岸清掃ボランティア

植樹・育樹活動の様子

陸上養殖の様子
提供：マルハニチロ株式会社

○気候変動問題

・CO_2/GHG排出量の削減目標
　①自社排出量削減目標
　　2030年度△51%以上（2013年度比）
　　2050年度ネットゼロ
　②投資先排出量削減目標
　　2030年度
　　総排出量△45%以上（2010年度比）
　　インテンシティ△49%以上（2020年度比）
　　2050年度ネットゼロ
・目標達成に向け、営業拠点・保有ビルの省エネルギー化、社有車のEV車等の導入推進、ESG投融資の推進等に取り組む。

○プラスチック問題

・環境省が主催する「Plastics Smart運動」へ賛同し、業務や日常生活で使用するプラスチックのリデュース・リユース・リサイクルに努める。
・その一環として、「プラスチッククリアファイルゼロ」を目標に設定。